

# 個人情報保護法 3 年ごと見直しを踏まえた パーソナルデータ利活用を進めるための実務 ～プライバシー保護とデータガバナンスの基本と実践～

— 講師 —

丸の内総合法律事務所 弁護士 木村 一輝 氏

日 時 2026 年 3 月 4 日（水） 午前 10 時～12 時  
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信（2 週間、何度でもご視聴可）  
会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

## 〔重点講義内容〕

パーソナルデータの利活用の重要性が叫ばれている中で、各企業は「データガバナンス」を構築すべき、「プライバシー保護」をすべき、と言われますが、プライバシー保護やデータガバナンスとは何でしょうか。現在、個人情報保護法の 3 年ごと見直しが進んでおり、その改正も見据えてプライバシー保護、データガバナンスの構築を進める必要があります。

最近の具体的な事例や個人情報保護委員会における執務経験も踏まえた上で、基本的な事項及び 3 年ごと見直しの内容を説明しつつ、ポイントを解説します。

1. パーソナルデータの内容、パーソナルデータを取り巻く法律の概観
2. 個人情報保護法 3 年ごと見直しの内容
3. 個人情報保護法 3 年ごと見直しが実務に与える影響、今から取り組むべき事項
4. データガバナンスの基本的な考え方
5. データガバナンスを構築するための具体的な手法
6. 最近の個人情報保護委員会の処分を踏まえたパーソナルデータ利活用のポイント
7. 質疑応答／名刺交換

## PROFILE 木村 一輝(きむら かずき)氏

2015 年に弁護士登録し、企業法務の弁護士事務所である丸の内総合法律事務所に入所。2022 年 1 月～2023 年 12 月の 2 年間、個人情報保護委員会に出向。弁護士に復帰した後は、企業法務を中心にしつつ、個人情報保護法関連の相談、個人情報の漏えい等の対応等を行う。商事法務「設例で学ぶ個人情報保護法の基礎」(2024 年)や NBLNo.1257 2024 年 1 月号「[新春座談会]データガバナンス／プライバシーガバナンスの要諦と課題(上)」等、個人情報やパーソナルデータについての著作多数。

